



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 日本看護協会

看護職員の新型コロナウイルス感染症対応 全看護職員を対象に実態調査を実施 (周知のお願い)

看護体制や労働条件、健康・安全確保の実態把握へ

公益社団法人日本看護協会（会長：福井トシ子、会員76万人）は、9月8日から「看護職員の新型コロナウイルス感染症対応に関する実態調査」を行います。

新型コロナウイルス感染症への対応では、衛生材料等の物資不足や看護職員の労働環境悪化、差別・偏見など、近年、看護界が経験したことの無い事態が発生しました。感染拡大にも対応できる医療提供体制を確保するためには、看護職員が医療現場において安全・安心に働ける体制整備を行うことが重要です。

本調査は、本会の会員・非会員を問わず、全ての看護職員を対象とした8つの調査からなり、あらゆる領域で活動する看護職員の労働環境などの実態を把握することで、今後同様の事態となったときに、医療現場の状況や意見を、国への政策提言や臨床現場への支援に結び付けることを目的としています。

調査結果は、感染症発生時の看護体制の在り方や、本会からの適切な情報提供の在り方などを検討する資料としても活用します。

1人でも多くの看護職員に本調査に参加していただき、看護職員の意見を反映できるよう、報道関係の皆さまには、調査の趣旨をご理解いただき、さまざまな機会にご紹介くださいますよう、お願い申し上げます。

調査概要

1) 実施期間：

9月8日（火）～22日（火）

2) 調査項目（概要）：

- ・ 看護体制、労働力の実態
- ・ 労働条件、健康・安全確保の実態
- ・ 人材確保の実態
- ・ 行政、都道府県看護協会、現場の連携
- ・ 看護職員への差別・偏見
- ・ 認定・専門看護師の活動状況
- ・ 本会に期待される支援

News Release

報道関係者各位

公益社団法人 日本看護協会 広報部

2020年9月2日

3) 調査対象：

下記①～⑧の看護職員（保健師・助産師・看護師・准看護師）。会員・非会員を問いません。

- ①病院看護管理者
- ②介護保険施設（特養・老健）看護管理者
- ③訪問看護ステーション看護管理者
- ④感染管理認定看護師・感染症看護専門看護師
- ⑤感染領域以外の認定看護師・専門看護師
- ⑥都道府県看護協会会長
- ⑦新型コロナウイルス感染症の発生に伴い看護協会の呼び掛けに応じて復職した看護職員
- ⑧全国の看護職員（就業中・離職中を問わない）

4) 調査・回答方法：

Web 調査。日本看護協会 HP トップページ「新着情報」(<https://nurse.or.jp/>) から「看護職員の新型コロナウイルス感染症対応に関する実態調査 専用ページ」にアクセス。

5) 結果の公表：

10月以降に本会 HP などで公表予定